様式３

会　議　記　録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和８年度第１回近江八幡市放課後子ども総合プラン推進協議会		
開催日時	令和８年８月２５日（火）　１０：００　～　１１：２０		
開催場所	市役所　新庁舎４階　委員会室４		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	◎ 大澤 正幸委員、　○ 堀尾 秀治委員、 冨江 康子委員、　森 由理委員、　伊藤 秀樹委員、 河野 厚子委員、　吉永 和人委員、 犬丸 直也委員 （欠席）小川 ゆかり委員		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名　　教育委員会事務局生涯学習課　万野 電話番号　０７４８－３６－５５３３ FAX番号　０７４８－３６－５５６５ ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録　・　要約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため
内容	別紙の通り		

担当課⇒総務課

会議の概要	１　開会 ２　挨拶（生涯学習課長） 第二期近江八幡市放課後子ども総合プラン行動計画を令和7年4月に策定し、本年度は５か年計画の２年目です。担当課から現状を報告しますので、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携、社会総がかりで子どもの育ちを支える観点での放課後子ども教室のあり方、多様な地域人材の持続的な確保等の課題に対して、それぞれの立場からご意見をお願いします。 ３　委嘱状の交付 ４　自己紹介 ５　会長・副会長の選出（会長：委員互選、副会長：会長指名） 会長に大澤委員、副会長に堀尾委員を選出 ６　報告・協議事項 ⑴　市内放課後児童クラブの状況について ⑵　寺子屋プラス事業（放課後子ども教室）の状況について ⑶　市放課後子ども総合プラン行動計画に係る意見交換・交流
委員	放課後児童クラブに在籍している子どもたちが、放課後子ども教室に参加している状況はありますか。
委員	例えばコミュニティセンターと連携して開催いただいている放課後子ども教室には参加されていることもあると聞いています。
委員	放課後児童クラブと放課後子ども教室の場所が離れていると、併用して利用するのは難しいと思います。子どもを歩いて行かせて良いのか、そういう課題が解決されると利用が増えるのかなと思います。
委員	夏休み期間中に、学校図書館の開放をした時は、放課後児童クラブの子どもたちの利用も多数ありました。
委員	市全体として、児童数は減少傾向ですか。
委員	全体としては徐々に減少していきますが、放課後児童クラブの利用についてはしばらく伸びていくと推計しています。
委員	放課後児童クラブの利用者の中には、夏休みだけでも利用ができればという声は聞きます。昔は、夏休みに放課後子ども教室があれば放

	課後児童クラブを通年利用しなくて良いという議論がありましたが、最近は、就労率などを考えると夏休みだけの利用では難しく、放課後児童クラブの利用が増えていると思います。放課後児童クラブでは、生活全般、学校、家庭との関係も含め、異年齢で支援していくので、担い手人材の確保が重要な課題だと思っています。
委員	医療的ケアが必要な子どもの場合、看護師の配置が必要です。放課後の子どもたちの過ごし方を考える場合は、こういったことも今後は考えていく必要があります。
会長	安土コミュニティセンターにて、夏休み子ども映画会を実施したときは、放課後児童クラブの子どもたちが参加してくれました。こういったことで上手に連携できたら良いなと思います。放課後の子どもの居場所が、学校運営協議会の議題に上がってきたり、コミュニティスクールの研修で取り上げたりしても良いのかもしれません。
委員	前任の北里小学校では、北里学区なら何ができるかについて、まちづくり協議会の方も含めて話し合いました。長期休みのときにイベントをたくさんすることによって居場所を確保する、できることから始めようと話し合った経験があります。
会長	まちづくり協議会には、子ども活動担当者がいます。そういう立場の人も話し合いに入っていけば、広がりがあるのではないでしょうか。
委員	岡山コミセンでは、今年の夏休みに子ども食堂を３日間開催され、３０人以上の子どもたちが参加していました。現在は、放課後児童クラブやコミュニティセンターとの連携が乏しいところです。今年の放課後子ども教室では、特別支援学級の子どもの参加希望がありましたので、今後は支援が必要な子どもの対応方法も考えていく必要があると課題になりました。地域の人にも参画してもらいたくて声をかけますが、支援員になってもらうのが難しいのが現状です。
会長	今までは八幡学区だけでしたが、コミュニティセンターとの連携が他の学区でも多くなってきました。安土学区まちづくり協議会では、ダンス教室やけん玉教室を、放課後子ども教室と共催で実施しました。学校のスクールケアサポーター（大学生）にも声をかけてボランティアとして参加してもらいました。
委員	子ども食堂が夏休みに開催されているのは、すごく良いなと思いました。何回かあるだけでも、友達と時間を共有できるので、他の学区

	にも広まってくれたら良いなと思います。
委員	岡山コミュニティセンターでは、今年初めて、夏休みに、中学生、高校生に、会議室を１日開放していました。何人かが、受験に向けて勉強をしていましたが、とても良い取組だと思いました。
委員	放課後子ども教室の開催回数の少ない学校では、コミュニティセンターとの連携等で、回数を増やせていければ良いなと思っています。
委員	国の補助が減っている中で、回数を増やしていけば市費の負担が増えていくと思いますが、いかがでしょうか。
委員	国・県補助金に加え、ふるさと応援基金を活用しながら、活動時間数を確保していきたいと考えています。
委員	人材確保の点でいうと、支援員の時間単価を増額することも考えてはどうでしょうか。何人の子どもたちが参加するのか、それに見合った支援員の体制をどう確保するのかも難しさがあると思います。
委員	開催をコーディネートできる人材が大事だと感じました。
会長	学校では地域学校協働活動推進員、まちづくり協議会では子ども活動担当者など、いろいろなキーパーソンを繋いでいくことが重要だと思いました。
会長	本日は、放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、夏休みなどの長期休業中にアクションを起こせたら良いとの意見がありました。新しい視点としては、子ども食堂と連携していければ良いという意見もありました。各学区での実施回数の目標値も提示してもらいましたので、まちづくり協議会の子ども体験活動との連携もヒントにしてもらうと今後の広がりがあると思いました。
委員	まちづくり協議会の会議などで話題にしてもらえると良いと思います。この放課後の子どもの居場所について、学校、コミュニティセンターも一緒に考え、地域の根本の課題として力を入れられると、連携できることはたくさんあると思います。 ７　次回の会議について ８　閉会